

2024年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔家庭科〕〔生活デザイン〕	3年	2単位	教科書	生活デザイン 実教出版	副教材等	-	履修対象・ 使用教室等	3学年アクティブ
教科・ 科目の 目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を体験的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	各ライフステージの課題を達成しながら、生活の営みに必要な知識の定着がなされている。人の一生という時間の経過の中で、金銭、生活時間、人間関係などの生活資源や、衣食住、保育、消費などの生活活動が相互に関連されているものと理解している。	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会のかかわりについて理解している。生活に必要な知識と技術を実践的に習得している。			男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度が育成されている。自分の考え方に根拠があり、自分の言葉で説明することができる。授業プリントの整理整頓をし、丁寧に自己管理がなされている。				
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	単元テスト	4回・各単元50点満点			100	-	-		
	レポート作成	4回ほど・iPadを使用			-	40	-		
	ファイル点検	2回・仮評定を出すタイミングにファイルの回収			-	-	50		
	調理実習	2回・お魚定食とクリスマスケーキ（予定）			-	15	10		
	被服実習	1回・昔ながらのおもちゃづくり			-	10	5		
	体験授業	4回ほど・実践的に学び提出			-	35	35		
		〔観点別配分％〕			（3観点の比重を％で示しています）				
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	記 当 時 間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
4 5 6	第1編 人と関わって生きる 第0章 歳時記のある暮らし	15	日本人が大切にしてきた、知っておきたい「和」の伝統行事と、季節に寄り添う生活の楽しみ方を学ぶ。一般教養として伝統行事を継承できるよう、正しい知識を養う。 ハガキの基本的な書き方、美しい言葉遣いを実践的に学び、目上の方に暑中見舞いを送る。			五節句 単元テスト 暑中お見舞い ファイル点検	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ○ ○	
7 8 9	第1編 人と関わって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族	20	生涯発達の視点で青年期の課題を認識させ、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えさせるとともに、家庭や地域の生活を創造するために自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することが重要であることを認識させる。			自分らしく生きる 性別役割分業 婚姻届 ワーク・ライフ・バランス 単元テスト	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ○ ○	
10 11 12	第1編 人と関わって生きる 第3章 高齢者とかかわる	15	高齢期の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題について理解させ、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について認識させる。 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解させ、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について認識させる。			高齢期の食事体験 調理実習 ノーマライゼーションを考える 単元テスト ファイル点検 お手玉づくり	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ○ ○	
1 2 3	第3編 消費者として自立する 第1章 消費行動を考える	10	自立した生活を営むために必要な消費生活や生活における経済の計画に関する知識と技術を習得させ、環境に配慮したライフスタイルについて考えさせるとともに、主体的に生活を設計することができるようにする。			家計管理 持続可能な社会の実現 単元テスト ホームプロジェクト	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ○ ○	

学習の アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元テストでは50点満点中40点を目標すること。</li> <li>○レポートは用紙の8割以上埋めること。内容をきちんと理解し、丁寧に完成させること。</li> <li>○授業内で配布されるプリントは全て記入し、フラットファイルに綴じましょう。無くさずに保管しておくこと。</li> <li>○休んでしまった時にも課題を提出してもらっているかもしれません。同級生や教科担任に確認すること。</li> </ul>
--------------	---